

# 石川 中央会報

石川県中央会会報

2010

No.3

平成22年度表彰式並びに  
第55回中央会通常総会を開催  
暑中お見舞い



石川県中小企業団体中央会

石川県中央会会報

2010

No.3

# 石川 中央会会報

題字  
故 安田隆明 名誉会長

## 巻頭ゼミナール

- 2 「団塊クレーマーの出現をどう捉えるか」  
神戸国際大学経済学部 教授 中村智彦氏
- 5 「地域の力を新しい連携で活かす」～緩やかな連携が地域の力を増幅する～  
有限会社ビジネスプランニング 代表取締役 勝瀬典雄氏

## トピックス

- 8 平成22年度の建設業復業化支援プログラムに9社が承認（石川県）
- 9 平成22年度ふるさと石川環境保全功労者知事表彰授賞式を開催（石川県）
- 9 新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～が閣議決定される
- 10 中央会に“官公需総合相談センター”を設置しました

## 中央会事業だより

- 11 平成22年度表彰式並びに第55回中央会通常総会開催される
- 13 中央会表彰式 受賞の方々
- 16 第27回 石川県中小企業団体事務局協議会 通常総会を開催
- 17 中央会女性部地区別交流会並びに懇談会を開催
- 17 エコ住宅 新・改築に関する技術講習会を開催
- 18 「青年中央会人材養成塾・Fight!」が開講
- 18 第62回中小企業団体全国大会へ提出の要望事項を決定～企画委員会～

## News

- 19 全国中小企業団体中央会通常総会開催  
・五嶋会長が中小企業振興功労章を受章  
・中小企業対策に関する要望を決議
- 20 全国中小企業青年中央会通常総会・全国代表者会議並びに  
全国レディース中央会通常総会・組合女性部活性化研究会へ出席
- 20 小松鉄工団地協同組合が「石川県版道路アドプト制度」活動団体に  
認定

## お知らせ

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 21 交流ゴルフ大会開催のご案内     | 22 第62回中小企業全国大会開催のお知らせ |
| 22 個別専門相談室開催のご案内     | 23 県内の情報連絡員報告（6月）      |
| 30 決算関係書類等の届出をお忘れなく！ | 31 くみWai 広場            |
| 37 暑中お見舞い            |                        |



表紙写真：  
石崎奉燈祭(いっさきほうとうまつり)  
◇と き：8月7日(土)  
◇と ころ：七尾市石崎町

## 「団塊クレーマーの出現をどう捉えるか」

中村智彦氏／神戸国際大学経済学部 教授

**1** 「2007年問題」というのが世間を騒がせて、すでに三年が経った。「2007年問題」というのは、団塊の世代の中でも、最も人数の多い1947年生まれが、2007年に60歳定年を迎えることによって発生するさまざまな問題を懸念したものであった。実際にさまざまな問題に対して、各企業で対策が取られた。

「団塊の世代」とは、一般的に1947年から1949年までのベビーブームに生まれた世代を指す。人口は、約800万人と世代別に見ると最大である。従来も、この世代は人口的にも多きを占め、社会的にも大きな影響を及ぼしてきた。第二次世界大戦後の復興期に誕生し、戦後教育を受け、青年期には学園紛争などを牽引してきた。また、青年期以降は高度経済成長期を体験し、新たな消費文化やライフスタイルを創出してきた世代でもある。

### 1. 『団塊の世代』の基礎データ

人口の単位は1,000人

生 年	出生数	現在年齢 (2010年)	男 (2007年10月1日)	女 (2007年10月1日)	合 計 (2007年10月1日)
1947	2,679	63歳	1,065	1,096	2,161
1948	2,682	62歳	1,123	1,153	2,276
1949	2,697	61歳	1,134	1,160	2,293
団塊の世代計	8,058		3,322	3,409	6,730

※総務省統計局「人口推計年報」および厚生労働省「人口動態調査」から作成  
※四捨五入されているので合計での数は合わない。

20歳から22歳までの人口(386万人)の1,7倍!  
45歳から47歳までの人口(500万人)の1,3倍!

この団塊の世代が、現在、63歳から61歳を迎えている。景気回復期に当たった2007年当時は、各企業が定年延長や、再雇用制度などを打ち出し「2007年問題」対策を講じたが、その後の景気の落ち込みなどから、それらが打ち切られたり、再雇用しても低賃金であることから退職を選択する人も多く出てきている。また、多くの企業が雇用の5年間延長を打ち出したために、今度は「2012年問題」と呼ばれる大量退職時期を迎えるのではと指摘する意見もある。いずれにしても、団塊の世代の退職、高齢化は、中小企業にとっても見逃せない大きな問題でもある。

先日、あるメーカーの中堅社員と雑談をしていた

時である。最近の団塊の世代に手を焼いているという話になった。それは・・・

「最近、退職したOBが会社にやってきて困るんだよなあ。ずかずか入ってきて、誰はどうしているんだとか、あいつは今なにをしているんだとか。新入社員は、誰だかわからないでキョトンとしているし、なにより仕事の邪魔なんだよなあ。」

「そうそう、うちにもいるよ。でも、この間から、受付で通さないようにしたよ。机の上の書類を見て、あそこのお客は今、こんなのを買っているのかとか、現役時代と同じように見るもんだから、さすがにまずいってなってね。数年前まで上司だったり、同僚だったりした人を追い出すのはつらいから、受付できちんと対応してもらおうってことになって、IDカードを持っていない人の立ち入りは固く禁ずるって。」

OBにしてみれば、懐かしい気持ちも手伝って、つつい古巣の職場に足が向くのだろう。退職してから、まだ日も浅く、最近まで同僚だったり、部下だったりする社員が働いているのを見ると、現役時代と同じような調子で話しかけたりするのだろう。他社の社員からも同じような話を聞いた。

### 2. 『団塊の世代』の共通体験

戦後の復興期に誕生⇒プレハブ教室・受験戦争⇒  
学園紛争⇒政治への高い関心

- ・大学進学率は20%弱。大半は高校卒業後、地方から大都市へ就職
- ・教育には高い関心

成人する頃に大阪万国博覧会⇒  
高度経済成長期に就職⇒成功体験の形成

- ・経済成長を支えたという自負心
- ・恋愛結婚が普通に
- ・大家族から核家族へ

バブル経済崩壊を中堅社員として体験

- ・住宅ローンなどの重荷
- ・リストラなどの対象として苦勞

50歳代になってからIT化の進展

- ・上の世代と異なりパソコン、インターネットが使える
- ・退職しても情報発信

定年前後にリーマンショック

- ・早期退職、成果主義、年金先送りなどを体験
- ・子供の世代(団塊ジュニア)は就職氷河期を経験

権利意識大  
拡大こそ成功  
意外とケチ  
ネット世代

次世代への不満

手ごわい  
顧客の登場!

「昼食時になると、OBがやってくる。人によっては毎週のようにやってくる。善意なんだろうとは思いますが、現役時代と同じように事務所スペースまで入り込んでくるのは困るよなあ。」

管理職として働く社員の中には、こうした行為に問題を感じている人も多いようである。社員たちも、つい最近まで上司の立場だった人物に、ついつい内部や顧客の情報を話してしまいがちだと懸念する意見を持つ人もいた。たとえ最近まで社員であったとしても、今は社外の人間。機密情報や個人情報を見られてしまえば、企業の責任を問われる可能性もある。中には退職後、コンサルタントやアドバイザーなどの肩書きで他社に勤務したり、自営しているOBもいる。それだけに、十分な注意を払う必要が出てくるのだ。



街に出ても、初老の男性が一人である光景が多くなっているように思える。  
まだまだ社会で活躍してもらいたいのだが…

団塊の世代の影響は、自社のOB問題だけではないようである。今、問題となっているのは、通称「団塊クレマー」の登場である。

「うちのユーザーは本来、女性のはずなんだけど、最近、クレーム窓口にも男性、それも団塊の世代の人たちからの電話が多くて、オペレーターが参ってしまい、管理職である私のところに回ってくる。オペレーターじゃ話にならない、あげくに私が責任者として替わっても納得せず、品質管理の担当者か、製造部門の担当者に電話を代われとしつこい。」

「うちもある。材質の問題だ、どんな素材を使っているのか、材質の仕様書をファックスしろと言われて。さすがに、そんなもの外に出せるはずないじゃないですかと言ったら、自分は以前、専門職としてやっていたのだから、見るのは当然だと怒鳴り始めた。」

「私は、図面を出せて言われたことがあるなあ。断ったら、お前じゃ話にならないから、設計部門か工場の部長級を出せて。」

「製造工程を聞かれたので、こうですと説明した。そうしたら、以前はこの工程があったはずだ。それを省くからこういうことになる。すぐに工場に言って、復活させろと怒鳴られた。しかし、その人がいた頃とは、機械も工程も変わって今は必要ないんですと説明しても、全く聞かない。」

これらの話は、住宅設備メーカー数社の管理職と話しをした時に出てきた話である。

いずれのクレームも、事故が発生したり、品質的には交換や修理に繋がるようなものではなかったという。電話の主は、いずれも団塊の世代で、以前に勤務していた企業名や専門的知識を必要とした職種であったこと主張し、「専門家」の立場から意見を言ってくるのだそうだ。なにより、少々のことでは納得せず、オペレーターが困惑してしまうほど、電話の話が一方的で長いのが特徴である。

しかし、上記のケースで言えば、金銭的な要求などはなく、「専門家としての意見を聞け」ということが主張の中心だったと言う。中には、「お前の会社は、品質管理がなっていないから、私が行って指導してやる」ということを主張するケースもあった。それも金銭的に雇用しろという話ではなかったようである。「返品や交換などといった要求ではないだけに、むしろたちが悪い」という意見が出てくるのである。

「加えて問題なのは、こうした世代はインターネットなどを利用していることだ。対応したオペレーターに対して、会話を録音している、ネットで公開するなど脅しに近いことを言う顧客も少なくない。」

団塊の世代は、現在63歳から61歳。定年退職をしたばかりで、まだまだ血気盛んである。学園紛争な

どを経験した世代であり、政治や社会問題などに関しては意識も高く、知識も豊富。こうした世代がいっせいに退職し、消費者として厳しい目で向かってくるというのは、なかなか厳しいものがあるのは確かだ。

中小企業も無関係ではいられない。特に飲食店や旅館業などでは、すでにネット上での厳しい評価に音を上げている経営者も多いのではないだろうか。ネット上での書き込みなどを注意してみると、若い世代よりも中高年、最近では団塊の世代の書き込みなどが増加していることに気がつくだろう。「お気に入りの店」を巡って、店側に関係なく、激しい議論、というか非難の応酬を行い、中には名誉毀損だと訴訟騒ぎにまで発展している事例も出ている。こうした事例は、決して若い世代だけの問題ではないのだ。

もちろんマイナス面だけではない。「迷惑な存在」と切り捨ててしまうのはもったいないという意見も多い。あるメーカーでは、過去に生産した製品のリコールが発生し、回収に追われたが、その際に大きな力を発揮したのが、OBたちだったという。

「外部に依頼するという手もあったが、もともと製品をよく知っていることや、顧客対応を熟知しているOBたちをアルバイトとして来てもらった結果、回収が非常にスムーズにいった。熱心な働きぶりや、顧客対応は若い社員たちに非常に参考になった。」

別の企業のクレーム担当部署の責任者は、次のように話してくれた。

「専門的な知識を無料で教えてくれているのだから、その点についてはきちんと聞いて、報告を上げるように指導している。イライラするのは判るが、

丁寧に聞き、指摘している点を理解するようにして欲しいとも。ただ、業務妨害になりうるケースも増えているので、そうしたケースには毅然とした態度で対処していく必要もある。」

団塊の世代は、戦後の復興期、高度経済成長期に青年期を過ごしている。消費行動なども、それ以前の世代とは大きく変化している。その点では、従来の「高齢者」像から大きく変化している。また、専門的な知識や権利意識なども高い世代であると言われている。ある意味で、顧客として見るとなかなか手ごわい相手ではある。

2007年問題が話題に上ったころ、団塊の世代が手にする退職金の総額が約80兆円だと推計され、それを狙った「団塊向けビジネス」が次々と発表された。しかし、そのいずれも大きな成功を見せているとは言い難い。その原因の一つは、従来のイメージを延長した「高齢者」像があったのではないだろうか。この世代はバブル経済崩壊によって、住宅ローンに苦しんだ経験を持ち、なおかつ景気悪化の影響で子供の世代（団塊ジュニア）は、景気悪化の影響で就職氷河期に直撃している。このため、経済的に必ずしも余裕があるとは言えない。また、若い頃に経済状況の良い時代を経験しており、品質などには非常に厳しい眼を持っているとも言える。従来型の「裕福な老人たち」では必ずしもないのである。

むしろ、今、経営者から見れば、理論武装し、口うるさく、権利を主張し、さらには情報発信をもする「高齢顧客」が目の前に登場したと言える。率直いえば、市場としては興味深い、非常に手ごわい顧客の出現である。しかし、そのことをマイナスで捉えるのか、それとも自社の商品やサービスを改善するチャンスと捉えるかは、それぞれの経営者の手腕に懸かっている。

## 中村 智彦 (なかむら ともひこ)

### 【常勤】

神戸国際大学経済学部 教授

### 【非常勤】2010年度

日本福祉大学経済学部 関西大学商学部

### 【研究調査のテーマ】

- ・中小企業論 (中小企業間ネットワーク、中小企業政策など。)
- ・地域経済論 (製造業、商店街問題、企業誘致、地方自治体による産業支援問題など。)

☆フィールドでの調査や研究を得意としております。個人的趣味から、最近のニッチ市場やマニア市場なども関心の対象です。



【生年】 1964年 東京都町田市生まれ

### 【職歴】

1988年～1991年 Thai Airways International Co.,Ltd 日本支社勤務  
 1991年～1994年 株式会社PHP総合研究所勤務  
 [1992～1993年 シンガポール支社駐在]  
 1996年～2001年 大阪府立産業開発研究所 経済調査部国際調査室勤務  
 2001年～2007年 日本福祉大学経済学部 助教授  
 2007年 神戸国際大学経済学部 教授

### 【参考】

筆者の公式ブログ → <http://blog.kansai.com/stroller>

筆者のゼミ生が作成している「京阪神企業見聞録」  
 → <http://kiu.monodukuri.jp/>

# 「地域の力を新しい連携で活かす」

～緩やかな連携が地域の力を増幅する～

勝瀬典雄氏／有限会社 ビジネスプランニング 代表取締役

## 1. はじめに

地域資源・農商工連携の国の中小企業支援施策に当初から関わり、地域に今も息づいている歴史的・伝統的・文化的な素材をテーマにした、地域の中小企業の新しいビジネス・新商品の開発に取り組む現場に数多く接してきた。

この取組の中で、少しずつ成果を上げる取組も見えてきている。さらに今まで当たり前すぎて、気づかなかった地域の力の活かし方も見えてきた。しかし景気の回復基調にあると言われていたが、地方の中小企業にはまだまだその兆しが見えてきていない。今、中小企業が元気を取り戻すために、地域の強みとは何か、そしてその強みを活かす方法とはどのような取組なのか、新しい連携で積極的な取組をしている先進事例を元に考えてみたい。

## 2. 地域の強み農林水産品ではすでに多くの地域連携の取組が定着している

地域の強みとしての農林水産品や加工品ではかなり以前から地方を中心に産直市場・道の駅などで直接農家が生産品を販売する仕組みづくりが定着している。新鮮な産品を手に入れることができることから、顧客も定着し安定した売上げの確保がされている。地元のJA等農家の取組を支援する組織が要となり様々な加工品も数多く販売される仕組みができあがってきている。この仕組みも農家の能力を連携して初めて成り立っている。

首都圏においても新たな取組が進んでいる、東京青山のメイン通りにある国連大学が共催して国連大

学前の広場で、福島・長野・千葉など関東地域広域の農業生産に関わる若者たちが毎週ファーマーズマーケット@UNUとして下記のコンセプトの元に連携して、直接生産者から顧客に生産品の特徴を説明しながら販売する仕組みが定着してきている。都会に住む、若者世代から高齢者まで幅広い顧客層が訪れ、多くのファンが定着してきている。これも地域の力を活かすための新しい農業者の連携の仕組みである。それぞれ農家単独ではなかなか作れない売場づくりを連携することにより実現している。

### 「国連大学前ファーマーズマーケット@UNU」

#### Farmer's Market とは？

“農、食、買い物そして日々の生活について再考する場”

- 農家と私たちの間の対話を生み出し、健康的な食べ物とその源に対する理解を促進する。
- 農家と人々を直接結びつけ、相互理解によるコミュニティをつくることで、農家がより質の高い農業を継続できるよう支援する。
- 生活者である私たちが“マイファーマー”と言えるほど信頼できる農家から、新鮮で健康的な食べ物を買う楽しみをつくる。
- 私たち生活者も農業のプロセスに関わり、営みを理解するきっかけを提供する。

Farmer's Marketはこれらを通じて、都市に暮らす人々の生活に貢献することを目指します。



「定着した全国各地で見られる産直市場・道の駅の売場」



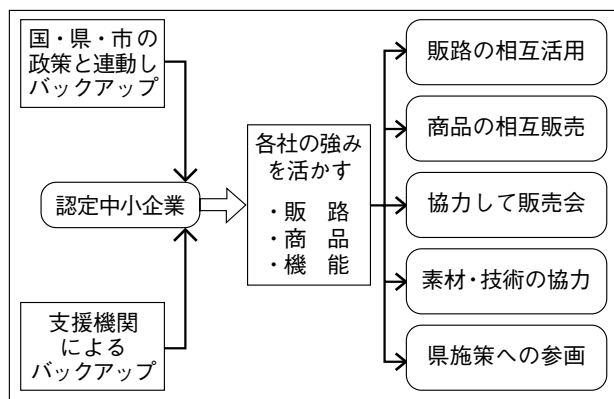
「東京青山の国連大学前で毎週開かれている（ファーマーズマーケット@UNU）」

### 3. ものづくり中小企業も新しい連携の取組を始めた

農業生産者においては前述のように着々と顧客に近づく取組がされており、顧客から見ても安心して購入できるチャネルとして定着してきている。では地方のものづくりの中小企業ではどのような取組がされているのであろうか、私が携わっている地域の力を活かした地域資源活用・農商工連携支援の仕組みにおいても従来型の個別企業に対する販路開拓支援が中心となっており、販売成果につながる結果を出すことはかなり難しい状況にある、企業を連携した取組としての支援も、展示会などのイベント型がまだまだ主流となっており、バイヤーに気づいてもらう受け身型の支援になっている。

以前から何か新しい販売の仕組み作りはできないものかと模索してきたが、実際の現場で活動しなげらなかな方法が見つからない状態にあった。この悩みを解決する何か取組はできないものかと、もう一度、地域の力の考え方の原点に戻り支援企業の強みの見直しをしてみると、それぞれの企業が従来からの販売チャネルや製造ノウハウを持ちながら、他社の強みを相互活用していないことに気がついた。単純なことではあるが、ここで私が担当している栃木県に相談をかけ、地域資源・農商工連携の認定企業を集めて、それぞれの企業がどのような取組をしているのかを相互に知ってもらう取組をしてみると、意外にもそれぞれの企業の賛同が得られ、会議の中でお互いに強みを知らないことがわかり、下記の取組ができないかと提案してみると、参加企業からは是非それぞれの企業の強みと連携したいとの意向を聞くことができた。この会議から4ヶ月が過ぎた、今、栃木県では急速にそれぞれの企業の力を連携させた取組が成果を出し始めた。

#### 「栃木県で進めている、地域資源・農商工連携認定企業戦略会議の取組事例」



東京の百貨店で開催中の地場産品フェアの様子

### 4. 緩やかな連携で中小企業の地域の力を活かす取組は

前述でご紹介した戦略会議の取組では、つぎのような具体的な連携が進んでいる。

- ①以前、本誌でもご紹介したことのある宇都宮カクテルの認定企業である酒販卸売企業では、自社の持つ販売口座を活用して地域の有名観光ホテル・旅館に農商工連携で開発したアイスクリームの販売に協力を始めた。また本来の商社機能を活かして、様々な地域資源を活用した商品の地元への販売窓口として積極的に取組んでいくことを進めている。
- ②首都圏の高級スーパーに販売口座を持つ、農商工連携認定企業である農産品加工企業は、自社の商品開発能力を活かして、自社チームの他に地域資源活用認定企業が地域で開発した商品の素材を活かして、パッケージや加工の協力を行い、首都圏の高級スーパーに販売を開始している。
- ③全国の百貨店に売場を持つ米菓メーカーは、地域資源に指定されている野菜・果実を使った和風菓子の取組で地域資源認定を受けた。しかし自社内に野菜の一次加工の設備がないことから、設備導入を検討していたが、新たな連携の構図を検討する中で、同様に地域資源認定企業のソースメーカーが、ソースを造る工程で野菜・果実を菓子素材として加工できることがわかり、その加工工程で連携協力することとなった。

上記の3例の以外にも様々な連携の可能性が生まれている。それぞれがよく名前を知っている地元の企業でありながら、それぞれの企業がどのような力を持っているのか、どのようなノウハウを持っているのか、今まで気づけなかった力を再認識した新しい連携が始まっている。

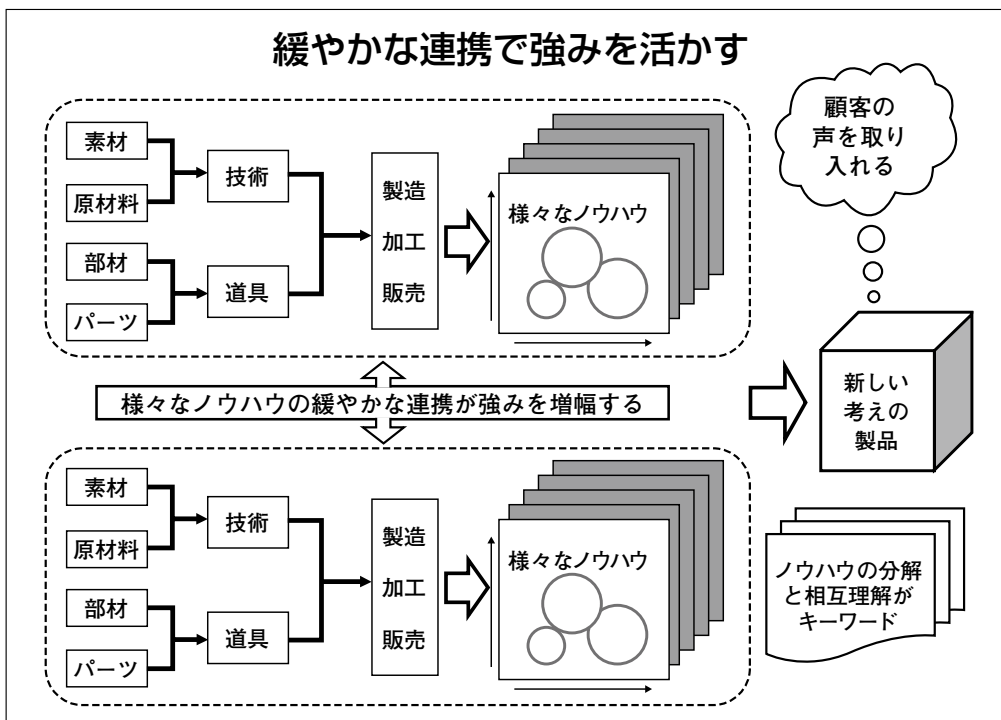
この取組では、地元の企業に根付いている地域の力を連携することにより、新たな設備投資をしなくても新商品の開発スピードがあげられる、また、新

しい販路開拓に個別に取組まなくても、すでに持っている販路と提携することで、なかなか実現することの難しい、地域の販売チャネルや首都圏の高級スーパーに商品を販売していくことができるなどの効果がかなりのスピードで実現できている。

地域の強みを活かすということは、地域にある素材だけでなく、地域にある企業自体も強みであると考えられる。今まであまり目を向けることの無かつ

た地域の強みにもう一度焦点を当てて仕組み作りに取りかかってみてはどうでしょう。これは決して難しいことではなく、今まで言われていたように強固な連携ではなく、それぞれのできることを緩やかな連携で進めることで、かなり実現の可能性が広がるものです。是非、今後の地域の取組でも検討してみたいかがでしょうか。

「緩やかな連携の仕組み作り」



**勝瀬 典雄**(かつせ ふみお)

【出生】  
昭和28年 徳島県徳島市生まれ

【所属】  
・有限会社 ビジネスプランニング 代表取締役  
・独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東支部 経営支援部 プロジェクトマネージャー  
地域資源・農工商連携担当

【経歴】

H7年6月～現職  
㈱ビジネスプランニング 代表取締役  
H14年4月～H17年3月  
四国経済産業局 産業クラスター計画コーディネータ  
H16年6月～H17年3月  
NPO ITコーディネータ協会 フェロウ  
H17年4月～H19年3月  
四国産業技術振興センター 産業クラスター計画クラスターマネージャー

H17年4月～H18年3月  
中小企業基盤整備機構 四国支部新連携サブマネージャー  
H14年4月～H19年3月  
中小企業基盤整備機構 四国支部常設相談員  
H13年9月～H19年9月  
四国経済産業局 テクノプロデューサー  
H19年4月～H20年3月  
中小企業庁 地域資源タスクフォース  
H19年8月～H20年3月  
全国中小企業団体中央会 地域資源活用マニュアル作成委員  
H19年6月～H20年3月  
中小企業基盤整備機構 地域資源全国事務局GM  
H20年4月～H21年3月  
石川県中小企業団体中央会 中小企業地域力連携拠点センター 応援コーディネーター  
H20年4月～現職  
中小企業基盤整備機構 地域資源関東支援事務局PM  
H20年9月～現職  
J-SaaS運営事務局 中小企業向けSaaS活用基盤整備事業



## 平成22年度の建設業復業化 支援プログラムに9社が承認（石川県）

石川県では、公共事業の縮減や民間工事の低迷等により、大変厳しい経営環境におかれている建設業者に対し、昨年度から「建設業復業化支援プログラム」を創設し、新分野進出を促進する様々な支援策を講じ、地域経済の健全な発展並びに地域雇用の維持及び確保を図っており、今年度は、33件の応募の中から、審査会の審査を経て24件を採択し、特に計画内容が優れていた企業（9社）に対して、谷本正憲知事から承認書が交付されました。

承認企業には初期投資の一部補助と県の融資利率や入札参加資格の優遇などの支援が受けられます（詳細は石川県商工労働部経営支援課ホームページでご確認下さい）。当プログラムの承認は来年度も実施予定で、県のほか本会をはじめ、商工会議所等、建設業協会、石川県産業創出支援機構など関係機関に相談窓口が設置されています。

本年度の承認企業と事業計画は下記のとおりです。

- 株式会社エムエス（金沢市：管工）  
事業内容：受粉能力の高いクロマルハナバチ（在来種）の飼育と販売【畜産業】
- 株式会社上田組（輪島市：土木）  
事業内容：遊休農地を活用した畑作農業への参入【農業】
- 株式会社沢野組（七尾市：土木）  
事業内容：能登伝統野菜「沢野ごぼう」の栽培による農業参入【農業】
- 小路建設株式会社（金沢市：土木）  
事業内容：里山の休耕田を活用した特別栽培米の生産【農業】
- 株式会社滝川組（津幡町：土木）  
事業内容：地域と共生した水田農業への取り組み【農業】
- 株式会社田中建設（能美市：土木）  
事業内容：雑草抑制材（ヒメイワダレ草+防草土）の製造販売【小売業】
- 北陸エアコン株式会社（金沢市：管工）  
事業内容：フロン類破壊による環境サービス事業への参入【サービス業】
- 株式会社摩郷（穴水町：とび・土工）  
事業内容：凝集剤・水質浄化装置による水質浄化事業の展開【卸売業】
- 有限会社マルオカ建設（志賀町：土木）  
事業内容：パイロット農地の新展開を先導！「増穂ごんぼ」の産地形成を目指して【農業】



承認を受けた9社



事業の概要説明を行う企業代表社

TOPICS

## 平成22年度ふるさと石川環境保全功労者 知事表彰授賞式を開催（石川県）

ふるさと石川の環境を守り育てるための取り組みに顕著な功績があった個人、団体、事業者などをたたえる「平成22年度ふるさと石川環境保全功労者知事表彰」の授賞式が6月30日、石川県庁で行われ、「環境保全企業」として本会から推薦のみづほ工業株式会社（金沢建設業協同組合）など、19個人と3団体、4企業が谷本正憲知事から表彰状を受け取りました。

みづほ工業株式会社は、本会が参加を呼びかけた「里山保全活動」への積極的参加や毎年削減目標値を設定した日常業務におけるエネルギー削減の取り組み、低公害車の導入など社内外における環境を守る活動が評価されました。



みづほ工業(株) 平櫻 保 社長



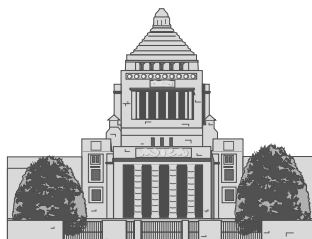
受賞の方々

TOPICS

## 新成長戦略 ～「元気な日本」復活のシナリオ～ が閣議決定される

政府は、6月18日、平成32年度までの今後10年間の経済政策の指針を示す「新成長戦略」を閣議決定しました。この戦略は、「強い経済」、「強い財政」、「強い社会保障」の実現を目標としており、平均で名目3%・実質2%を上回る経済成長を実現する道筋を示しており、昨年末に公表されている基本方針をベースに行程表など具体策が盛り込まれています。

また、会報前号のトピックスでお伝えしました「中小企業憲章」も同日、閣議決定されました。



### 成長戦略の骨子

- 環境、健康、アジア、観光の4分野で計500万人の雇用と123兆円の需要創出
- 国内総生産（GDP）を1%以上押し上げ
- 租税特別措置などを抜本的に見直し、法人税の実効税率を主要国並みに引き下げる
- 平成23年度にもデフレ脱却を目指し、日銀に最大限の努力要請
- 過度の円高を回避
- 7分野で計21の政策を国家プロジェクトに
- インフラ輸出を20兆円市場に
- 平成32年度までの平均で名目3%超、実質2%超の成長

新成長戦略全文は下記経済産業省ホームページ等でご覧になれます。

[http://www.meti.go.jp/topic/data/growth\\_strategy/index.html](http://www.meti.go.jp/topic/data/growth_strategy/index.html)

## TOPICS

## 中央会に“官公需総合相談センター”を設置しました 「平成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針」閣議決定される

6月18日、「平成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針（官公需についての中小企業者の受注の機会の増大を図るための方針）」が閣議決定されました。

同方針では、行政経費節減のため、競争契約や一括発注の要請が強まっており、中小企業者の受注環境は一層厳しい中、受注機会の増大を図るための有益な既存の取組を進めるとともに、支援強化やダンピング防止対策の充実を図るとしており、平成22年度の中小企業者向け官公需契約目標額については、約3兆8,656億円（官公需総予算額に占める中小企業者向けの金額の割合：56.2%【過去最高水準】）としています。

また、中小企業者の受注機会の増大のための主な措置として、以下について新たに講じられ、全国の中央会に官公需の仕事探しの窓口となる「官公需総合相談センター」が設置されました。

👉 平成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針（本文）：中小企業庁HP

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/2010/download/100618KKH-2.pdf>

### 中小企業者の受注機会の増大のための主な措置

〈官公需総合相談センター〉  
担当：情報企画課

#### (1) 中小企業者の自助努力への支援強化

- ① 国の発注機関ごとに「官公需相談窓口」を設置
- ② 官公需の仕事探しの相談に応じる「官公需総合相談センター」を全国に設置
- ③ 中小企業支援機関での支援ツールとして、官公需情報ポータルサイトの利用を促進

#### (2) ダンピング防止対策の充実

- ① 低入札価格調査において、入札価格内訳書の徴収を徹底
- ② 落札者名の公表を徹底し、公正取引委員会、労働基準監督署などの規制当局による監視に繋げる

#### (3) 特殊会社に対する努力要請

👉 官公需ポータルサイト

<http://kankouju.jp/>

👉 官公需情報：全国中小企業団体中央会HP

<http://www.chuokai.or.jp/kankouju/kankouju.htm>



# 平成22年度表彰式並びに 第55回 中央会通常総会開催される

本会の平成22年度表彰式並びに第55回通常総会が去る6月22日（火）午後4時より石川県地場産業振興センター本館大ホールにおいて挙行されました。

当日は、会員313名（委任状出席を含む）が出席し、来賓として谷本正憲石川県知事、山出保石川県市長会会長、深山彬石川県商工会議所連合会会長をはじめ、県、市、商工団体等の関係機関から多数が出席され、盛大にとり行われました。

総会は、五嶋耕太郎会長挨拶の後、富木昭光副会長が議長に選任され、第一号議案「平成21年度事業報告書、収支決算書、貸借対照表、財産目録、損益計算書、剰余金処分案並びに平成21年度特別会計事業報告書及び収支決算等承認の件」、第二号議案「平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）並びに特別会計事業計画（案）及び収支予算（案）決定の件」、第三号議案「平成22年度会員の会費賦課基準（案）並びにその徴収方法（案）決定の件」、第四号議案「平成22年度借入金残高の最高限度額（案）決定の件」、第五号議案「役員改選の件」（新役員名簿は次ページに掲載）の五議案が上程され、すべて原案どおり可決承認決定されました。

再任された五嶋会長からは「景気の先行きが懸念される状況ではあるが、憶することなく国の礎である中小企業の発展、更には地域経済振興のため、共に考え、行動し、結果を出す中央会として全力を傾注し事業推進を図っていきたい」との挨拶がありました。



五嶋会長のあいさつ



議長の富木副会長

総会に先立ち、中央会表彰式が挙行され（受賞の方々は13～15ページに掲載）、永年業界の振興発展に尽くされました組合並びに役員の方々、また、組合運営の礎となっている職員の方々にそれぞれ石川県知事表彰（優良組合8組合、組合功労者22名、優良専従職員9名）、石川県中央会会長表彰（優良組合12組合、組合功労者46名、優良専従職員11名）及び西川記念賞表彰（1組合）が授与されました。



石川県知事表彰 組合功労者  
石川県ビルメンテナンス協同組合 常少常三理事長



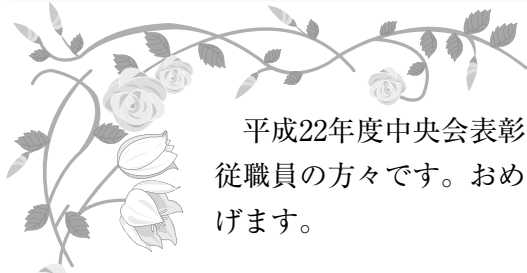
中央会会長表彰 組合功労者  
安原工業団地協同組合 米澤卓也理事長

## 石川県中小企業団体中央会 新役員名簿

順不同・敬称略

会 長	五 嶋 耕太郎	輪島漆器商工業協同組合	理 事	今 門 正 二	石川県中古自動車販売商工組合
副 会 長	片 岡 清	石川県電器商業組合		大 浦 政 昭	金沢魚商業協同組合
	富 木 昭 光	協同組合金沢問屋センター		大 友 哲 哲	野町商店街振興組合
	森 岡 吉 男	社団法人石川県ニュービジネス創造化協会		小 間 井 隆 幸	石川県商店街振興組合連合会
	西 紀 幸	小松織物工業協同組合		寺 岡 才 治	富来町商業近代化協同組合
	明 石 巖	石川県鉄工団地協同組合		野 村 幸 宏	石川県石油販売協同組合
	村 田 信 親	石川県プレス工業協同組合		三 田 國 男	金沢酒販協同組合
	直 江 茂 行	石川県醤油協同組合連合会		村 端 儀 一	石川県青果食品商業協同組合連合会
	小 西 國 夫	ウイング北陸綜合衣料商業協同組合		伝統産業・食料品関係	
専務理事	安 田 慎 一	石川県中小企業団体中央会	伊 野 正 満	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会	
理 事	繊維関係		岡 垣 昌 典	輪島漆器商工業協同組合	
	石 野 琇 一	石川県テントシート工業組合	蚊 谷 八 郎	石川県箔工工業協同組合	
	石 山 外 司 郎	協同組合加賀染振興協会	中 島 健 次	石川県パン協同組合	
	上 田 高 志	石川県捺糸工業組合	中 田 龍 一	石川県菓子工業組合	
	大 沼 利 洋	石川県輸出縫製品工業協同組合	宮 宏 之	山中漆器連合協同組合	
	酒 井 紘 一 郎	小松原糸織物商業協同組合	吉 田 正 一	石川県陶磁器商工業協同組合	
	白 江 光 昭	石川県繊維資材工業組合	運輸・印刷・サービス・その他製造業・異業種関係		
	山 本 一 人	石川県織物工業協同組合	常 少 常 三	石川県ビルメンテナンス協同組合	
	鉄工関係		田 中 道 夫	和倉温泉旅館協同組合	
	穂 田 竹 男	旭丘団地協同組合	寺 井 金 七	山中温泉旅館協同組合	
	板 尾 昭 栄	小松鉄工機器協同組合	中 浦 政 克	協同組合のともん	
	岩 本 博 之	石川県第三機器協同組合	長 田 実	石川県理容生活衛生同業組合	
	多 川 直 信	北陸鉄工協同組合	永 野 博 信	石川県印刷工業組合	
	中 川 憲 司	石川県鋳物工業協同組合	架 谷 憲 洋	石川県自動車整備商工組合	
	中 村 健 一	協同組合アイケイケイ	馬 場 貢	石川県プラスチック成型加工工業協同組合	
	本 裕 一	能美機器協同組合	松 本 初 夫	金沢市旅館ホテル協同組合	
	建設・木材関係		山 田 秀 一	石川県貨物運送協同組合連合会	
	北 川 晶 夫	石川県管工事協同組合	米 澤 卓 也	安原工業団地協同組合	
	北 川 義 信	石川県総合建設業協同組合	その他		
	鶴 山 庄 市	金沢建設業協同組合	安 藤 喜 代 子	石川県中小企業団体中央会 女性部	
野々市 芳 朗	石川県造園業協同組合	直 江 潤 一 郎	石川県中小企業青年中央会		
増 江 潔	金沢木材協同組合	監 事	王 生 義 彦	金沢中央信用組合	
向 出 勉	石川県生コンクリート工業組合		池 田 利 明	小松協栄瓦企業組合	
米 沢 寛	石川県電気工事工業組合		勝 泉 完	石川県板金工業組合	
商業関係			加 藤 功	松任建設業協同組合	
安 宅 雅 夫	金沢中央水産物卸協同組合		上 馬 定 司	石川県電機設備協同組合	
荒 井 角 男	近江町市場商店街振興組合				

# 中央会表彰式 受賞の方々



平成22年度中央会表彰式にて表彰されました、優良組合・組合功労者・優良専従職員の方々です。おめでとうございます。今後、益々のご活躍をお祈り申し上げます。  
(敬称略)

## 石川県知事表彰

### 優良組合

(組合設立年次順)

組合名
山代温泉配湯事業協同組合
協同組合全国企業振興センター
山代温泉温泉事業協同組合
石川県中古自動車部品協同組合
七尾駅前通り商店街振興組合
能都商業振興協同組合
トルクテキスタイル開発事業協同組合
協同組合たくま石川



### 組合功労者

(組合設立年次順)

氏名	組合名	氏名	組合名
岡本久一	金沢市クリーニング協同組合	北村哲志	協同組合石川県高速道路交流センター
岡本康宏	石川県自転車軽自動車事業協同組合	別宮祐輔	石川県エルピーガス金沢保安センター協同組合
杉本進伍	石川県第三機器協同組合	山崎哲男	羽咋市商業協同組合
中野沖士	山代温泉旅館協同組合	河島功	羽咋市商業協同組合
福島理夫	石川県印刷工業組合	常少常三	石川県ビルメンテナンス協同組合
卯野信彦	金沢仏壇商工業協同組合	笠間史盛	石川県製本工業組合
北野義和	石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会	谷口研三	石川県柔道整備師協同組合
阿部靖司	近江町市場商店街振興組合		
作川隆司	小松管工事協同組合		
新木洋満	石川県プラスチック成型加工工業協同組合		
米野輝	石川県自動車電装品整備商工組合		
石倉衛	石川県保険薬局協同組合		
石山外司郎	協同組合加賀染振興協会		
岡崎進	金城小売協同組合		
架谷由法	石川県プロパンガス事業協同組合		



### 優良専従職員

(組合設立年次順)

氏名	組合名
室石 智子	金沢市クリーニング協同組合
田辺 誠	近江町市場冷蔵庫協同組合
竹俣 礼子	近江町市場冷蔵庫協同組合
山内 由美子	近江町市場冷蔵庫協同組合
浦 るり子	石川県自動車整備商工組合
西井 芳明	羽咋鹿島生コンクリート協同組合
中越 静枝	羽咋鹿島生コンクリート協同組合
高見 ますほ	羽咋市商業協同組合
岩倉 和博	石川県中小企業団体中央会



### 西川記念賞表彰

#### 優良組合

組合名
協同組合コミュニティショッピングプラザ小松

※西川記念賞表彰の沿革

昭和31年5月、故西川外吉氏より本会へのご厚志を基とし、ご寄贈の趣旨を体して、永くこれを記念して、中小企業の振興発展に多大の業績のあった団体または個人を表彰している。



総代のみなさん（最前列）

### 石川県中小企業団体中央会会長表彰

#### 優良組合

(組合設立年次順)

組合名
金沢建築事業協同組合
石川県建築工事協同組合
石川県エコ・カルチャー協同組合
門前建設業協同組合
七尾かもめ商業協同組合
小松食品商業協同組合
明成物流事業協同組合
石川県金属屋根協同組合
小松本折商店街振興組合
石川県タイル煉瓦事業協同組合

組合名
北斗理容美容協同組合
協同組合アイテック



### 組合功労者

(組合設立年次順)

氏名	組合名	氏名	組合名
藤田 三男	金沢市クリーニング協同組合	片山 正	金沢建具協同組合
紙井 光一	金沢市クリーニング協同組合	前川 行信	石川県印刷工業組合
荒井 宏司	石川県電気工事工業組合	南 友裕	石川県印刷工業組合
中川 方正	石川県箔商工業協同組合	新田 昭彦	石川県印刷工業組合
石岡 二郎	石川県石油販売協同組合	斉藤 秀雄	石川県印刷工業組合
吉田 眞啓	山代温泉旅館協同組合	森 元仁史	石川県印刷工業組合

## 石川県中小企業団体中央会会長表彰

## 組合功労者

(組合設立年次順)

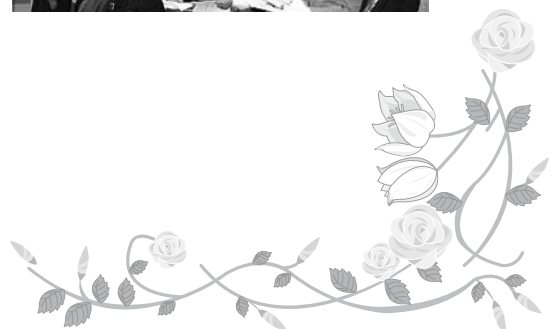
氏名	組合名	氏名	組合名
才川友吉	石川県鮭商生活衛生同業組合	園原雅人	協同組合小松問屋センター
鍋島盛雄	石川県飲食業生活衛生同業組合	加納裕	小松鉄工団地協同組合
林利一	金沢仏壇商工業協同組合	岡能久	金沢漆器商工業協同組合
諸江憲造	金沢市建築板金協同組合	森幸太郎	九谷焼団地協同組合
辰川伸一	協同組合金沢問屋センター	中村孝志	石川県中古自動車販売商工組合
木戸通夫	石川県税理士協同組合	森村隆	石川県中古自動車販売商工組合
村本高志	金沢原糸織物商業協同組合	後藤浩一	石川県中古自動車販売商工組合
山海一男	加賀建設業協同組合	松浦一彦	石川県表具内装協同組合
金井武利	石川県移動商業協同組合	米澤卓也	安原工業団地協同組合
安達利之	ウイング北陸総合衣料商業協同組合	杉浦平吉	石川県建具協同組合
田嶋正志	小松管工事協同組合	蔵伸広	石川県建具協同組合
石橋祐治	石川県造園業協同組合	中村健悦	協同組合全日本手技療術師協会連合会
粟森長八	大野醤油醸造協業組合		
紺田健司	大野醤油醸造協業組合		
竹松茂伸	石川県水産物商業協同組合連合会		
中島昌伸	石川県水産物商業協同組合連合会		
内島憲一	石川県水産物商業協同組合連合会		
白山武和	石川県水産物商業協同組合連合会		
広瀬修一	石川県水産物商業協同組合連合会		
新田孝吉	金沢中央市場発送仲卸協同組合		
吉原慎吾	協同組合小松問屋センター		
三輪紀敬	協同組合小松問屋センター		



## 優良専従職員

(組合設立年次順)

氏名	組合名
本吉兼仁	石川県管工事協同組合
池田明人	石川県管工事協同組合
武田克広	山中温泉旅館協同組合
福村純英	山代温泉旅館協同組合
林澄江	和倉温泉旅館協同組合
藤田幸久	近江町市場冷蔵庫協同組合
横川清	羽咋鹿島生コンクリート協同組合
杉若千奈津	石川県コンクリート製品協同組合
西村修	石川県土質研究協同組合
白米多都美	石川県土質研究協同組合
古谷芳美	石川県土質研究協同組合





## 第27回 石川県中小企業団体事務局協議会 通常総会を開催

平成22年度の石川県中小企業団体事務局協議会通常総会が去る6月24日（木）金沢スカイホテルにおいて開催されました。

総会では、門前重厚会長（石川県プレス工業協同組合）の挨拶の後、村田純一副会長（ウイング北陸総合衣料商業協同組合）を議長に選任し、上程された4議案すべて原案通り可決承認されました。

また、総会終了後、日本銀行金沢支店 味岡桂三支店長を講師にお迎えし、「北陸経済の底力」をテーマに昨今の北陸の経済状況と景気回復のキーワードについて講演をいただきました。

引き続き交流懇親会が開かれ、来賓の方々をお迎えし有意義な意見交換会がなされ、和やかな雰囲気の中で終わることが出来ました。

会員の皆様のご協力を感謝致しますとともに、本年度もご支援頂きますようよろしく御願い申し上げます。

### □平成22年度 事業計画

1. 組合事務局人材養成事業
  - (1) 役職員等研修事業  
年2回（金沢市ほか）
  - (2) 先進地視察研修事業  
年1回（中小企業団体全国大会）
2. 組合運営研究事業  
年3回（金沢市）
3. 組合情報提供事業  
組合運営に関する情報提供（随時）



挨拶をする門前会長



議長の村田副会長



講師の味岡日銀金沢支店長



講演会風景

## 中央会女性部地区別交流会並びに懇談会を開催

今年度、創立10周年を迎える石川県中小企業団体中央会女性部の地区別交流会並びに懇談会が6月23日（水）石川県地場産業振興センターにおいて金沢地区・加賀地区の女性部等を対象に、6月24日（木）輪島市輪島塗太郎において能登地区の女性部等を対象に開催されました。

金沢地区・加賀地区においては、まず安藤喜代子会長（金沢市湯涌温泉観光事業協同組合 かたくり会）より、中央会女性部の本来の目的である組合女性部の活性化を行っていききたいという挨拶の後、特に今年度は、中央会女性部創立10周年であり、会員増加のための取り組みとして、女性部へ未加入の会員組合に女性部設置状況調査を実施し、その結果を踏まえ、女性部役員を中心とした女性部会員増加推進体制を構築し、啓蒙普及並びに女性部のPRを行いたい旨の報告がなされました。



金沢地区・加賀地区の交流会の様子

その後、出席した組合女性部会員から今年度の事業計画や、現在取り組んでいることについて説明をしてもらい、意見交換を行いました。



能登地区の交流会の様子

能登地区においては、伊藤夫美枝理事（富来町商業近代化協同組合 アスク女性部）が挨拶を行い、金沢地区・加賀地区と同様に中央会女性部の会員増加に向けて地域一丸となって取り組んでいくことが報告されました。

その後、和やかな雰囲気のもと懇談会が開催され、参加女性部間の交流が図られました。

## エコ住宅 新・改築に関する技術講習会を開催

本会では本年度も石川県からの委託を受け、6月29日（火）石川県地場産業振興センター新館コンベンションホールにおいて標記講習会を開催しました。

今回は「気密・断熱」に焦点を絞った省エネルギー住宅の設計施工等の技術向上のための講習で、住宅版エコポイント制度の実施等による「環境ビジネス」への関心の高まりにより、約200人を超える住宅関連事業者が参加しました。

参加者は講習に加え、事前に「いしかわエコハウス」内2階にある実際の断熱施工事例研修を受けるなど、新たなビジネスチャンスに繋げるための知識の向上を目指し、真剣に受講していました。



講習会の様子



エコハウス2階の断熱施工事例

## 「青年中央会人材養成塾・Fight!」が開講

今年度からの新しい取り組みとなる「青年中央会人材養成塾・Fight!」が7月9日(金)から約30名の塾生を集め、次世代リーダーの育成を積極的に行うことを目的に開講しました。(随時、参加者募集中!)

講師に中小企業経営のガッツ 代表で銀座コーチングスクール金沢校 代表の飯山暁朗氏を迎え、人材開発に効果のある“コーチング”についての研修会を3ヶ月間6回にわたり集中的に実施します。青年中央会では全日程終了後、検証などを踏まえた報告会を開催し、参加者から各青年部員へのフィードバックを目指しています。

### コーチングとは、

パフォーマンス向上のために、対話によって対象者を勇気づけ、「気づき」を引き出し、「自発的行動」を促すコミュニケーションスキルであり、「本人のやる気の引き出すこと」「自発的行動を促すこと」を引き出すことにより、『自立型人材に育成していく』ことの効果が期待できるとされています。



講義の様子

## 第62回中小企業団体全国大会へ提出の要望事項を決定 ～企画委員会～

本年度第2回目の企画委員会が7月20日(火)金沢石亭において開催され、第62回中小企業団体全国大会決議における「総合」、「組織」、「金融」、「商業・流通」、「税制」、「環境」、「労働」、「その他」の31項目にわたる本県の要望事項等が決定されました。この要望事項はこの後、三重県で開催される東海北陸ブロック中央会事務局代表者会議でブロック案として取りまとめられ、全国中小企業団体中央会へ提出されます。本県の要望事項全文は本会ホームページ (<http://www.icnet.or.jp/>)にてご覧になれます。なお、今回の全国大会は11月18日(木)奈良県にて開催されます。

また、このたび就任された桶屋幸蔵 石川県商工労働部長から「最近の商工労働施策等について」というテーマで講演をいただきました。



企画委員会の様子

## 全国中小企業団体中央会通常総会開催

- ・五嶋会長が中小企業振興功労章を受章
- ・中小企業対策に関する要望を決議

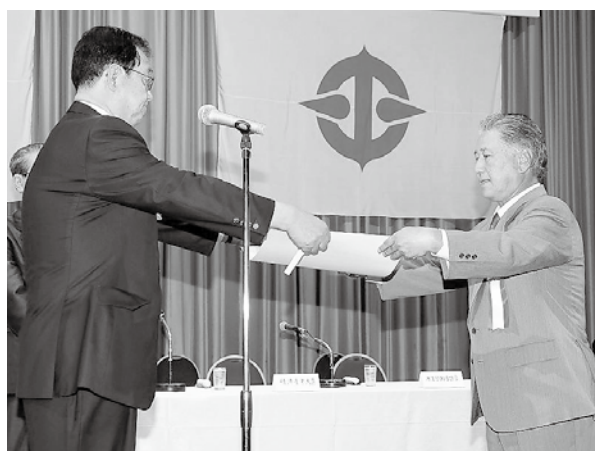
全国中小企業団体中央会の通常総会が6月30日、ANAインターコンチネンタルホテル東京（東京都港区）において開催されました。

総会には、来賓として直嶋正行経済産業大臣も出席、決算・予算及び役員補充等の承認のほか、下記9項目の「中小企業対策に関する要望」が決議され、7月1日、政府・与党に陳情が行われました。

また、総会の席上、本会の五嶋耕太郎会長が全国中央会鶴田欣一会長から長年に亘る中小企業振興に対する功績を讃え、中小企業振興功労章を受けられました。




直嶋経済産業大臣の挨拶



表彰を受ける五嶋会長

### <中小企業対策に関する要望>

1. 景気回復を最優先とした経済運営の推進
2. 中小企業対策予算の大幅な増額と連携組織対策の拡充
3. 口蹄疫に関する緊急対策の継続
4. 中小企業に配慮した雇用対策、社会保障制度並びに職業能力開発の実現
5. 資金繰り対策等中小企業金融対策の充実
6. 中小企業の活力増進を図る税制の更なる拡充
7. 中小企業の実態に即した新たな会計基準の策定
8. 不当廉売等への実効性のある対処、官公需受注対策の強化
9. 中小企業の負担減となる高速道路料金の見直し等

※ 要望事項の詳細は全国中小企業団体中央会ホームページ  (<http://www2.chuokai.or.jp/hotinfo/20100701.html>)にてご覧になれます。

## 全国中小企業青年中央会通常総会・全国代表者会議並びに 全国レディース中央会通常総会・組合女性部活性化研究会へ出席

全国中小企業青年中央会の通常総会と全国代表者会議が6月18日(金)千葉県において開催され、本県からは青年中央会 直江潤一郎会長(大野醤油醸造協業組合むらさき会)と谷口義則副会長(石川菓業青年会)が出席されました。

通常総会において役員改選が行われ、直江会長が全国青年中央会の理事に選任されました(本県から初の全国役員選出)。

また、全国レディース中央会の通常総会と組合女性部活性化研究会が7月13日(火)東京都において開催され、安藤喜代子会長(金沢湯涌温泉観光事業協同組合かたくり会)が出席されました。安藤会長は、今年度、組合女性部活性化研究会委員として全国レディース中央会と今後の組合女性部活動の活性化等に尽力されます。



新理事の直江青年中央会会長(写真中央)



研究会に出席の安藤中央会女性部会長

## 小松鉄工団地協同組合が 「石川県版道路アドプト制度」活動団体に認定

今年度からスタートの「石川県版道路アドプト制度」の活動団体に小松鉄工団地協同組合(藤井寛治理事長)が認定され、7月13日(火)石川県庁において認定書授与式が開催されました。同制度は、地域住民・企業・行政が役割を分担し官民一体となって道路を管理するもので、同組合は小松市の小松加賀線、認定されたもう1団体である『御祓川大通りを花と緑で彩り隊』は七尾市の七尾港線で活動します。なお、今号31ページの「こんにちは事務局さん」コーナーでは、同組合事務局さんを紹介しておりますので、是非ご覧ください。



活動概要を説明する藤田勝専務理事



谷本知事を囲む小松鉄工団地協同組合のみなさん

# 交流ゴルフ大会開催のご案内



本会並びに青年中央会では、会員相互の親睦を図るために毎年恒例のゴルフ大会を下記により開催することといたしました。多数のご参加をお待ちしています!!

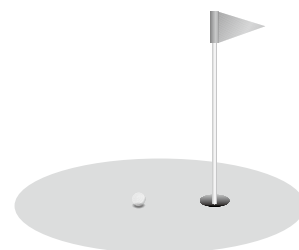
お知らせ

## 第25回組合交流ゴルフ大会

- と き／10月20日(水)
- と ころ／ゴルフクラブツインフィールズ ゴールドコース(予定)  
小松市里川町1番地 TEL:0761-47-4500
- 参加会費／5,000円(プレー費は個人負担)
- 競技方法／18ホールストロークプレイ(ダブルペリア方式)
- 定 員／64名(16組予定)
- 問合せ先／総務課 TEL 076-267-7711

## 青年中央会会員交流ゴルフ大会

- と き／9月3日(土) 7:33スタート
- と ころ／金沢カントリー倶楽部  
かほく市気屋亥4 TEL:076-283-1133
- 参加会費／5,000円(プレー費は個人負担)
- 競技方法／18ホールストロークプレイ(ダブルペリア方式)
- 定 員／28名(7組予定)
- 問合せ先／情報企画課 TEL 076-267-7711



※ 詳細につきましては、後日、会員各位にご案内いたします。



## 第62回中小企業全国大会開催のお知らせ

◇開催期日：平成22年11月18日(木)

午前10時00分～12時30分

◇開催会場：なら100年会館

(奈良県奈良市三条宮前町7番1号)

◇大会内容：議 事 (議案審議・意見発表・決議)

宣 言

祝 辞

表彰式 (優良組合・組合功労者・中央会優秀専従者)

奈良県産品の物産販売



◇参加者：約1,800名

※現在、本県からの参加ツアーを11月17日(水)～18日(木)の1泊2日(予定)で検討しております。行程等詳細が決まり次第、募集案内をさせていただきます。多数のご参加をお待ちしています！

## 個別専門相談室開催のご案内

本会では、中小企業が正確な経営情報を獲得し、適切な経営判断を支援するため、組合、中小企業任意グループ及び公益法人等を対象とし、専門家を招聘し、事業運営等の相談に応ずることを目的とした個別専門相談室(無料)を設けておりますのでお気軽にご相談下さい。

なお、予約制(30分ごと)のため相談希望の方は当日までに本会へご連絡願います。又、予約多数の場合、相談時間の短縮をお願いする場合がありますので予めご了承下さい。

**\*連絡先 総務課 TEL 076-267-7711**

### 《日 程》

開催日	時 間	内 容	専門相談員
8月9日(月)	10:00～12:00	税 務・経 営 相 談	税 理 士 坂 井 昭 衛
9月6日(月)	13:00～15:00	法 律 相 談	弁 護 士 久 保 雅 史

### 《場 所》

金沢市鞍月2丁目20番地

石川県地場産業振興センター新館5階 石川県中小企業団体中央会 会議室

# 県内の情報連絡員報告

平成22年  
**6月**

○**6月のDI値**は、前月と比べ全9項目中3項目（「販売価格」、「取引条件」、「資金繰り」）で小幅な上昇を見せたが、ここ5ヶ月間連続で上昇を続けてきた「売上高」と「業界の景況」などは微減となった。これは、製造業において円高や原材料価格の上昇など先行きの不安要素が多いことや非製造業において一部の業種を除いて相変わらず需要減など低調に推移していることの影響と考えられる。

○**製造業**では、「販売価格」など4項目で改善が見られたものの、「収益状況」などの主要3項目において僅かに悪化を示した。これは各ポイントの上昇を牽引してきた繊維や鉄工・機械関連が好調を維持できている一方、円高、強い値引き要求、原材料の上昇などにより、収益の確保が難しくなっていることが影響した模様である。また、食料品製造や伝統産業などその他の業種においては回復基調には至らず、業種間格差が拡大している傾向が見受けられる。雇用状況については、一部においてこれまでの人員削減により期限内納期に苦慮しているとの声が聞かれる。

○**非製造業**においては、5項目（「売上高」、「在庫数量」、「販売価格」、「雇用人員」、「業界の景況」）で悪化が見られ、特に「売上高」で14.8ポイントの減少となるなど依然として厳しい状況が窺われる。消費動向については、家電小売業や自動車整備業などで家電エコポイントや自動車グリーン税制により好調を維持しているが、その他の業種では盛り上がり欠け、特に商店街では夏場のバーゲンセール期を前にして買い控えが目立つとの声が聞かれる。温泉旅館業では、昨年同月に比べ宿泊客数は増加しているものの消費単価が下がっているため、収益状況は思わしくないとしている。天候に左右される衣料品小売業などでは、夏もの需要の増に期待を寄せている。

○**資金繰りや資金需要の現状や見通し**について、目立った不安の声は聞かれないが、中には製造業で原材料の上昇に伴う仕入資金や製品の値引きなどによる運転資金の確保などに懸念が示されている。その一方で、これまで消極的であった設備投資について、生産の回復傾向を踏まえより効率的な機械の導入などの資金需要が話題となってきている。ただ、非製造業、特に温泉旅館業では収益が上がらない中で運転資金などの確保に苦慮している状況が窺える。

平成22年

## 6月期 景況天気図

前年同月比

	全 体	製造業	非製造業
売上高	-10.3 (-8.6)	6.5 (-3.2)	-29.6 (-14.8)
在庫数量	-19.1 (0)	-16.1 (+6.5)	-25.0 (-12.5)
販売価格	-29.3 (+3.5)	-16.1 (+9.7)	-44.4 (-3.7)
取引条件	-22.4 (+3.5)	-16.1 (+6.5)	-29.6 (0)
収益状況	-36.2 (-1.7)	-22.6 (-6.5)	-51.9 (+3.7)
資金繰り	-29.3 (+1.7)	-19.4 (0)	-40.7 (+3.7)
設備操業度	6.5 (0)	6.5 (0)	-
雇用人員	-22.4 (0)	-25.8 (+6.5)	-18.5 (-7.4)
業界の景況	-25.9 (-3.5)	-9.7 (-3.2)	-44.4 (-3.7)

※ ( )内の数字は前月とのポイント差

### 全体の景況感

※主要3項目（売上高・収益状況・業界の景況）の平均値



雨  
-24.1

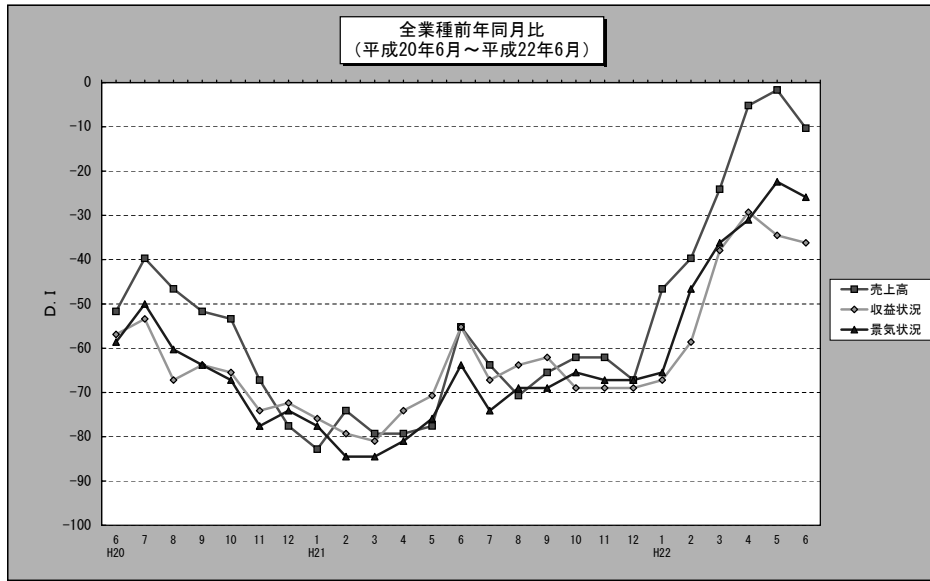
### 天気図の見方

各景況項目について「増加」(又は「好転」との回答を頂いた業種割合から「減少」(又は「悪化」との回答を頂いた業種割合を引いた値をもとに作成しました。その基準は次の通りです。

快晴 25以上	晴れ 10~25 未満	くもり 10未満~ -10未満	雨 -10~ -25未満	大雨 -25以上
------------	-------------------	-----------------------	--------------------	-------------



## 景況の推移 (前年同月比) 石川県分 (主要3項目)



集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	食料品	調味材料製造業 県内の醤油出荷量は前年同月比でかなり減少した。また、今年1～5月の累計においても前年同期の水準をやや下回った。
		パン・菓子製造業 (菓子) 特に変化が見られず、良くなる傾向は感じられない。
	繊維・同製品	織物業 年初来、一部商品に堅調な動きが見られたインテリア織物も景気低迷のムードが根強く、総じて厳しい状況となってきた。衣料、ファッション織物は大型ブランドのヒット商品用途に受注が増大し、極一部の商品で堅調な動きが見られる。しかし、ギリシャの経済危機の影響から海外市場は円高から価格アップの影響が大きいのしかかるとともに、国内消費マインドは低下したまま、日本製繊維製品の値下げ競争は益々厳しさを増しており、バイヤーからの値下げ要請が強まっているため採算性は著しく悪化している。
		ニット製品製造業 景況感はまだ模様だが、総じてうす曇りの状況にある。
		その他の織物業 (染色加工) 組合員の業況について、生産量は前年の実績とほぼ同じであったが、取引条件の改善が困難なことから収益は低下している傾向が見られる。今のところ全体的に見て回復の兆しは感じられない。我々の取り扱っている商品の動向に関しては、比較的低価格のものが動いており、高額品に関しては動きが鈍い。季節的要因に関しては、秋までは静かな動きといえる。組合員企業の資金繰りについては、相変わらず苦しい状況にある。
	木材・木製品	その他の織物業 (織マークの生産・加工) 6月度の売上高は昨年同月比で約20%の増加となった。しかし、これは特定企業の新規展開により増加となったという特殊要因によるものであり、現状は受注、生産、販売ともに落ち込みが続いており、一般消費の極端な落ち込みや様々な経済指標からもこの様な状況が継続すると思われるを得ないであろう。
製材業、木製品製造業 (金沢方面) 6月に入っても主要品目の価格上昇が止まらない。そのため、販売価格への転嫁はまぬがれない状況となってきたが、まだ周囲からの値上げ情報は聞かれない。		
	製材業、木製品製造業 (能登方面) 昨年より入荷や販売価格は少しは良いが、単価は依然として低迷している。新築住宅が減少している関係で中々活気が出てこない。	
出版印刷製造業	印刷製造業 売上高、収益状況とも変化は見られない。	

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	窯業・土石製品	生コンクリート製造業	県内の生コンクリート出荷状況は、平成22年6月末現在で対前年同月比92.1%の出荷となった。地区別で見ると、金沢、能登地区がプラス出荷となったものの、南加賀、鶴来・白峰、羽咋・鹿島、七尾地区がマイナス出荷となった。また、官公需68.3%、民需125.1%の状況であり、官公需の減少が大きく相変わらず厳しい。なお、セメントなどの値上げが叫ばれており、組合員企業の資金繰りは大変厳しい。
		砕石製造業	6月の組合取扱い数量は、対前年同月比で合材用アスファルト向けの出荷は18.5%と大きく減少したものの、生コン向け出荷は3.6%の増加となり、全出荷量で横ばいを維持することができた。また、4～6月の第1四半期では、合材用アスファルト向け出荷は16.7%と減少しているが、生コン向け出荷は4.8%増と全出荷量をカバーし2.4%のプラスとなった。
		粘土かわら製造業	売上高は対前年同月比で減少したが、天候が回復したことがプラス要因となり、対前月比では増加した。デフレ経済の長引く中、販売単価の下落傾向が続いており収益を圧迫している。設備操業度については、出荷量と在庫量を考慮しているため、例年より低い。金融機関の姿勢に変化はなく、資金繰りは安定している。
		陶磁器・同関連製品製造業	売上高、収益状況は前月と変わらない。個人消費の動向は多少悪くなっている。資金繰りについては、かなり厳しいという会社がありそうとの声が聞かれる。
	鉄鋼・金属	鉄素形材製造業 (銑鉄鑄物の製造)	建機や織機関係の回復により、関連鑄物企業は現能力でフル生産の企業がある。ただし、人員減により生産能力が以前の80～90%ほどに低下しているため、納期対応に苦慮しているところもある。また、受注単価は厳しい状況が続いている。なお、原材料についてはスクラップ価格は一段落しているものの、銑鉄はさらに価格アップが予想されており、ユーザーとの価格交渉が課題となっている。
		鉄素形材製造業 (銑鉄鑄物の製造・修理)	売上高は増加し景況は回復してきているが、この基調が継続するか不安視している。しかしながら、収益状況は原材料などの上昇により厳しい状況にあるため、売上高の増加に比例していない。資金繰りについては問題視している組合員はいないため、相応に対処しているものと思われる。
		非鉄金属・同合金圧延業	売上高や収益状況について、先月同様厳しい状況にある。その中で工芸品などについて、中国からの観光客需要に期待している。組合員企業の資金繰りについて、金地金価格が高騰しているため、以前よりも多くの資金が必要となっているため大変である。
		一般機械器具製造業	不思議なもので何社か良くなってくると、ほぼ全体的に良くなってくるものである。ただ、仕事量は増えたが採算性は良くなっていない。今後の原材料価格の上昇が気になる場所である。組合員企業の資金繰りについては、心配することはなさそうである。
	一般機器	機械金属、機械器具の製造	生産量の上昇が顕著に見られる。好調に生産を伸ばしている繊維機械、徐々に上昇傾向を示す工作機械や建設機械などにより、各工場の操業度は急回復を見せている。従って、売上高は上昇しつつあり、リーマンショック前の6～7割程度の水準に回復したのではないかと推察される。しかし、納入単価の据え置き、原材料価格の上昇、人件費を始めとする経費のアップにより、収益が上がり難い状況に変わりはない。とはいえ、忙しくなってきたことにより、活気がでてきて明るい雰囲気になってきた。また、当団地の共同駐車場の空きは徐々にではあるが埋まってきており、人の動きにもスピード感が現れている。ただ、部品メーカーの供給能力が追いつかず、ベアリングや油圧機器などの要素部品が間に合わず、生産上昇に水を差す事態が発生していることが見受けられ、今後の動きを注視しなければならない。組合員企業の資金繰りについて、工場の操業度が上がってくると、原資材の調達比や諸経費に充当する運転資金への需要が高まり、一時的なキャッシュフロー不足に陥ることがあったり、生産効率向上を目指す設備投資意欲が高まるなど資金需要は増してくることになるであろう。また、景気下降時の苦境打開のために調達した資金の返済も重なり、資金繰りは決して楽ではない。しかし、今の景気上昇が持続するならば金融機関の姿勢にもよるがそう深刻になる必要はないと思われる。

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	一般機器	プレス、工作機械	6月度の売上高は対前月比で1割強の上昇、対前年同月比でも1割の上昇となった。ただし、コストダウン要求や短納期対応のために残業時間や外注委託の増加したことにより、受注回復に対して収益状況が追いついてこない。組合員企業の資金繰りについて、一部部材の入荷待ちや鋼材価格の上昇などで収益的に見通しが悪いと、今後の資金繰りが懸念される。
		機械器具及び 其他金属製品の製造	家電部品、繊維機械及び工作機械関連は重荷中国向けの外需が好調を維持している様子で、売上高は前年同月比で増加している企業数が多くなっている。特に繊維機械の生産は2年前のピークに達しており、7月以降も雇用を増やし更なる生産に対応することとなることである。今まで時間を短縮した操業を続けていた小企業が今月より定時操業を行っており、継続することを祈るばかりである。ただ不振の業種もあり、特に二輪部品の下請企業は、ピーク時の1/3~1/2の仕事量しかなく低調が続いている。また、非鉄価格の上昇を販売価格へ転嫁できないため、企業努力で採算を確保するしかない。会員企業の資金繰りについて、現在売り上げ不振の企業においては資金繰りの見通しが悪い。
		機械、機械器具の 製造又は加工修理	繊維機械向け部品加工の受注量について前年度月平均と比較すると195%、直近のピークである平成19年度月平均比で86%と発注先の繊維機械メーカーはほぼフル生産である。組合員は主力の繊維機械向け部品の加工が少なかったため、採算性に合わない仕事もやらざるを得ない状況であったが、ようやく仕事内容を少しではあるが選択できるようになってきた。建設機械向けの仕事は直接取引を行っている企業は1社だけで、あとは2~3次下請であるが少しずつ仕事は増えてきている。工作用機器向けの部品加工は前年度月平均比で225%、直近のピークである平成19年度月平均比52%とようやく半分であるが、3月40%、4月38%、5月42%とはっきりと回復軌道に乗っていることを示している。ただ、繊維機械や工作用機器については値引き要求はないが、工作機械、建設機械、その他産業機械の仕事については値引き要求がきつところがあり、取引を続けるべきかどうか苦慮しているようである。
		機械、機械器具の 製造又は加工修理	売上高はリーマンショック以前の水準の70%近くまで戻っているが、原材料価格の上昇と値引き要求が強く、将来的には収益が悪化する要因となるであろう。大手発注先からは、品質を考慮して図面以上の仕事をしてもらっても価格の考慮を指摘されるし、簡単にクレームをつけて返品したり、損害賠償を求めると簡単に口に出すような状況にある。あまりに価格で攻めていると品質に影響が出るのではないかと懸念される。組合員企業の資金繰りについては、不況時の影響が遅かった企業は回復も遅く売上は余り伸びておらず、現在のところ経営安定緊急融資等で手元流動性は豊かであるものの、先行きは不安である。
	その他の製造業	漆器製造業 (能登方面)	売上高、収益状況とも下げ止まらない状況にある。個人消費はまだまだ手控えが続くようである。組合員企業の資金繰りについて、借入を低利の商品に借り換えることが進んでいるようである。
		漆器製造業 (加賀方面)	産地の木製漆器カタログは毎年6月に入れ替えが行われるが、今年は新カタログへの発注が少なく対前年同月比10数%のマイナスとなり、引き続き伝統的な木製漆器が落ち込み傾向にある。業界の秋商戦向けの展示会シーズンであるため、組合員は多様な見本市に出展している。陶器業界との合同見本市ではほぼ昨年並みの集客であったが、近年評価の高いショップ系市場対象の展示会においては昨年より来場バイヤーが減少し、特に海外系バイヤーが少なかった。個人消費の動向について、4~5月と客数、売上ともに伸びていた産地内の小売りは6月に入って急速に萎み、ほぼ昨年並みとなった。まだまだ安定した回復傾向にあるとは言えない。7月より加賀市周遊バスのキャンパスが山中温泉に乗り入れることとなるため、誘客効果が期待されている。
プラスチック 製品製造業		組合員の中には売上が今年最悪のところがある。要因は不況による受注の減少と原材料の値上がりである。雇用については、組合員の中にはボーナスを寸志程度しか出せないところもある。	
非製造業	卸売業	各種商品卸売業	世界同時不況の影響により、一般消費が萎縮して低価格品で我慢するかもしれないという形で表面化しつつあり、組合員の大半が売上、採算ともに悪化し、今後もこの傾向は変わらないものと思われる。展示会の開催を実施した組合員から消費の動向を聴取するも従来と比べると落ち込んでいるとのことであった。組合員の資金繰りについて、今後も厳しい状況が続くものと考えられている。

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	卸売業	繊維品卸売業	シルク、化合繊維物、洋装、和装とも小ロットのオーダーになっており、組合員企業は其中で生き抜くことに必死である。
		水産物卸売業	6月分の買受高は対前年同月比4.4%減と依然としてマイナス傾向が続いており、回復の兆しは全く見えない状況にある。景気回復に伴う消費行動の好転をひたすら願い、忍の一字で頑張るしかない中で地道に魚食運動の普及促進などに努めていきたい。
		一般機械器具卸売業	ゼネコンの安値受注の影響をサブコンに押しつけ、それに対応せざるを得ない問屋業といった構図が繰り返され、値引きによる売上高の減少や収益性の低下で良くなるはずがない。また改善される兆しもない。急激な公共物件の減が原因であるが、秩序ある商道徳を守るために各業界とも真剣に取り組むべきである。当業界に關係する季節的要因はエアコンであるが、春先に波注して支払いを済ませるため、冷夏であれば大変である。また、販売までタイムラグがあるため、資金繰りは大変である。
	小売業	百貨店・総合スーパー	昨対計99.2%、ファッション106.5%、服飾・貴金属101.5%、生活雑貨65.7%、食品143.8%、飲食96.7%、サービス111.1% 客数106.7%であった。ファッションはほぼ全店で好調であり、今月は服飾、貴金属も好調であった。ただ、飲食と食品の一部が伸びてこない。リニューアル効果により館の入場者数、利用数とも対前年同月比で伸びているにもかかわらず、飲食関連はその恩恵を受けていない。物販はほぼ全ての客層で伸びを見せている。そのような中で、リニューアルというものを差し引くと、消費が上向きだという実感は少ない。一つに商品の低価格化により訴求が価格にばかり目がいつていることにある。天候は夏から秋口の残暑になることを懸念している。
		男子服小売業 婦人・子供服小売業	6月10日頃から気温上昇に伴い、ようやく夏物の動きが始め盛夏商品の追加が見られた。何よりも世の中の嗜好や感覚は着実に変化している。この変化を逃さず、キャッチする感覚や柔軟性が問われている。いかに機会ロスをなくすか、売り場の鮮度を保つか苦慮している。個人消費については、特招会、ミニ催事、ポイントセールなど開催中は来客数が増えるが、平日の客数は増えない。父の日セールは前年並みであったが、やはり昨年にはない素材デザインや値頃感など必ずしも低価格志向ではない動向であった。
		米穀類小売業	6月の売上高は平成22年に入って過去最低の月であった。最近の傾向としては毎年1割ほど減少が続いている。消費者は品質や食味はいつでもよくなり、低価格であれば良いことに慣れてきているようである。これから季節的に暑くなるため、食欲減退で消費が落ち込むことが予想される。組合員店舗は今後経営悪化が心配されているため、廃業の店舗がでるにではと案じている。資金繰りについては、米消費の端境期となるため心配は無いようである。
		機械器具小売業	6月度の地域店の売上の伸びは、対前年同月比105%と僅かであるが前年を上回った。今月はメーカー各社系列店の合同展示会が開催され効果が大きかった。全体の伸びを稼いでいるのはカラーテレビであり、エコポイントやアナログ停波による買い替え効果が大きい。ただし、市場価格は下落傾向が続いているため、物が売れても利益を中々稼げない状況にある。また、冷蔵庫105%、洗濯機110%、エコキュート200%とこれらも催事による売上効果が大きかった。一方、ルームエアコンは60%と前年を大きく下回り、昨年来不振が続いている。機器の据え付け工事が伴うルームエアコンの粗利が確保できるため、地域店の経営に及ぼす影響は大きい。本格的な夏場商戦での売れ行きが鍵となるであろう。
		燃料小売業	売上高は前月比では減少しているが、前年比は横ばいとなった。原油価格は仕切り値が上昇から一転下落となるが、小売価格は仕切り下落幅以上に下方修正したため収益を圧迫している。夏休みや旧盆帰省により自動車利用が見込まれるため、需要の大幅増加に期待したい。資金繰り関係について、全国協会の保証付き融資の条件変更が増加傾向にある。
		他に分類されないその 他の小売業（土産物）	売上高は前年同月を下回ったが、昨年は高速道路ETC割引の効果があつたためと考えられ、一昨年との比較では上回っている状況である。収益状況は問題なく順調である。ただ、雨の日が多く観光客の入りの影響が懸念される。高速道路無料化や割引制度について、早期の確定を希望している。

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
非 製 造 業	商店街	近江町商店街	百万石行列により来街者の増が見受けられたが、卸売市場の休日にあわせて当組合店舗の休日が目立ったため、売上高は減少した。夕方から駐車場を無料化してお客様の取り込みを実施している。
		尾張町商店街	良いという言葉や希望はどこへ行ってしまったのだろうか。一つの方向性として、県工業試験場の敷地内にエコハウスが建設された。このエコは自然と人間の共生を目指すべきであるという方向性を示唆しているものであり、商いの目指すべき方向性もその辺りを考えなければならない時期にきているようである。
		片町商店街	セール前なのか買い物をする人が少ない様子である。そのため、前倒しでセールを開始する店も目立つ。また、賞与の支給に不安があるためか、土日においても買い物客は少ないと感じる。お中元需要も近年はほとんどなく、母の日や父の日などの個人的な感謝により商品を贈ることが多くなってきている。
	サービス業	旅館、ホテル (金沢方面)	週末の特定日には多少宿泊需要があるが、月の80%を占める平日の需要は皆無である。ここ2年間ほど同じ様な状況にあり経費削減でしのいできたが、限界が見えてきている。大企業優位の安易な政策をやってきた過去のしわ寄せが地方で続いていると言わざるを得ない。
		旅館、ホテル (加賀方面)	浴客数ベースでは、対前年同月比でプラス5～20%で推移しているが、売上単価の減額が影響して売上ベース対前年同月比で若干のマイナス傾向で推移している。不況感は薄れているものの、それに代わる良い材料が見られない。先行きの不安は依然として強く、個人消費熱は低い。また、円高の影響と世界情勢の安定化により、海外への旅行客増加が一部で見られるため、国内旅行との競合が増えてきている。組合員の資金繰りについて、売上の的にはマイナス基調の中で新規資金の調達難によりオフシーズンにおいては非常に厳しいところである。 6月の宿泊人員について、温泉地全体では対前年同月比で122.6%と6,886名の増加となった。そして、今年新規オープンした旅館を除いた場合でも、106.6%と増加が見られた。ただ、個人消費はまだ抑制がかかっている状況にあるようで、一部の宿泊料金を値下げした旅館などは価格を元に戻した途端に客数が目に見えて減少する状況にあるため、お客様の財布の紐はまだ固いと思われる。これから夏の行楽シーズンに向けて、テレビCMや雑誌などの広報活動に力を入れている状況である。資金繰りについては、大半の旅館逼迫した状況の中、宿泊料金を下げずに営業しているため資金繰りが大変厳しい状況である。
		旅館、ホテル (能登方面)	6月の温泉地全体では、対前年同月比で宿泊客は121%と約12,000名増加、県外資本の旅館を除くと108.5%と5,000名の増加となっているが、消費単価が下がっているため厳しさが続いている。売上については、対前年同月比111.2%と増加傾向にあるが、消費単価は91.1%と減少傾向にある。個人消費動向については、宿泊客の街中散策が多く見られるが、夏の行楽シーズン予約においてもあまり動きが見られないため、大きな期待はできない。
		自動車整備業	継続検査実績車両数については、登録車で対前年同月比100.8%、軽自動車105.6%と登録車が4月から6月にかけて前年比プラスで推移している状況である。一方、新車販売については、登録車で対前年同月比127.4%、軽自動車120.5%とエコカー減税や補助金の効果で順調に伸びている。これからは9月に減税対策が終了した後の動向が非常に心配される場所であるが、とりあえず販売店においては売上増に繋がっている状況下である。
	建設業	室内装飾工事業	売上高は前年同月比でほぼ横ばいであるものの、他社との競争で利幅が取れないこと等により、収益状況は引き続き厳しい状況にある。中には理解できないような単価が提示されることがあり、基本的には仕事の絶対量不足により先行きの明るさは見えない。個人消費動向については、エコポイント、金利動向、土地の割安感等からわずかながら住宅の新築が増えてきているため、今後期待したい。
		板金工事業	施工単価競争が激しく、仕事があっても収益に繋がらない状況が続いている。歯止めをかける良い方法は見つからない。

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	建設業	管 工 事 業	給水工事受付件数は、前年同月比でほぼ横ばいの状態であった。ガス管工事受付件数も前年同月と同じであった。給水工事、ガス管工事ともに上昇の気運が見られず先行きが不安である。良くなる材料があまり見当たらない状態でどこまで我慢すれば良いか見通しが暗い。早く民需の回復及び受注環境の増加に期待したい。
		一般貨物自動車 運送業①	燃料価格は6月中は若干上下したが7月は多少安定する見通しである。高速道路の利用状況については、前年同月比で110%となったが、前月比では90%となった。また、阪神高速道路の利用が首都高を上回るようになり、リーマンショック前の水準になってきた。高速道路の無料化実験が6月28日から22年度末まで実施されることになったが、あまり影響はないものと思われる。平成23年4月から点呼時にアルコール検知器の使用が義務付けられ、導入にあたって一部補助制度があるものの、種類や価格に幅があるため選択に苦慮しそうである。
	運輸業	一般貨物自動車 運送業②	6月度の売上高は前月比で約18%、前年同月比では約27%の増加となった。これは現在行われているサーカスの資材運搬について当組合が契約に成功したためである。また、売上高のうち組合員間の取扱高が前年同月比で41.6%アップしており、これは組合員同士の絆が強くなった証であり、しかも手数料も安く収益にプラスとなっている。貨物量はまだまだであるが、燃料価格に落ち着きが見られ運賃単価が戻れば収益状況は改善されると思われる。



## 10月1日 国勢調査を実施します。

- ・国勢調査は、平成22年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- ・調査結果は、さまざまな法令に基づいて使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちのより良い生活のために役立てられます。
- ・調査票へのご回答、よろしくお願いいたします。

総務省統計局・石川県・市町

# 決算関係書類等の届出をお忘れなく！

組合には、法律により認可・届出を要する事項が定められています。定款変更には認可が必要で、決算関係書類や役員変更には届出が必要です。

## 決算関係書類の提出

通常総会終了後2週間以内に、決算関係書類（事業報告書・財産目録・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案又は損失金処理案とそれらを承認した総会議事録）に届出書を添えて各所管行政庁へ提出しなければなりません。

※決算関係書類の提出を怠った場合、行政庁による検査等の対象になります。

## 役員変更の届出

役員の変更（氏名・自宅の住所の変更、選挙・選任による変更）があった場合には、その変更のあった日から2週間以内に、役員変更届（変更のあった事項を記載した書面並びに変更の年月日及び理由を記載した書面、その他の議事録等必要書類）に届出書を添えて各所管行政庁へ提出しなければなりません。

なお、前役員全員が再選された場合のみ、各所管行政庁への役員変更の届出が省略可能となります。

## 代表理事の変更登記申請

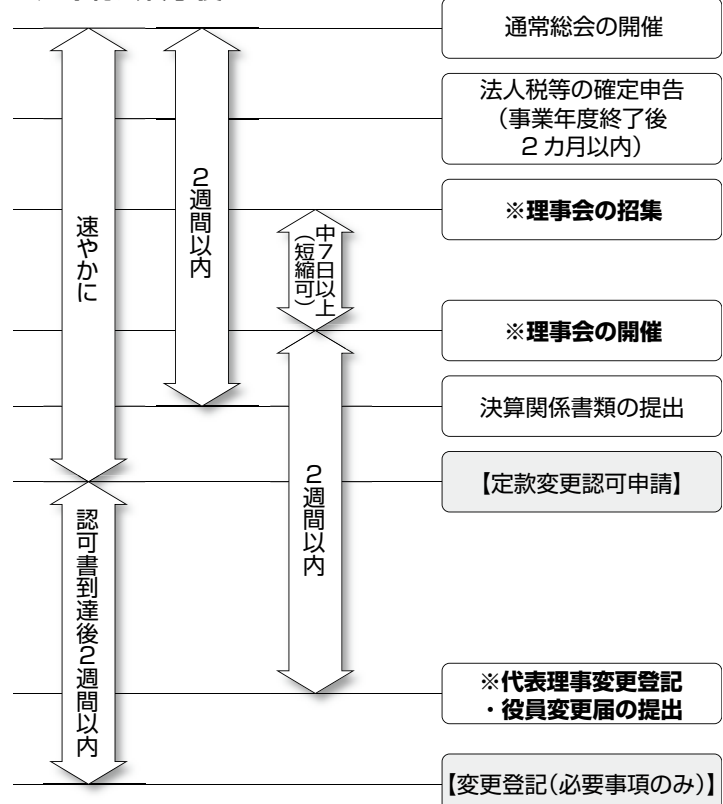
代表理事の変更（同一人物が代表理事に再選任された場合を含む）があった場合、代表理事が就任した日から2週間以内に登記事項を管轄の法務局に登記しなければなりません。

## 定款変更の認可申請

定款変更を総会で決議した場合には、所管行政庁の認可を必要とします。また、その内容によっては総会決議前に所管行政庁との協議が必要となる場合もありますので、事前にご相談下さい。

各提出書類につきまして、ご不明な点がございましたらお気軽に中央会までお問合せ下さい。

### ■通常総会終了後のスケジュール



- 上記※に関しては、役付役員の選任があった場合のみ
- 上記の【】記載は定款変更があった場合のみ

TEL 076-267-7711 URL <http://www.icnet.or.jp>

組合運営

検索

※各様式等は中央会ホームページよりダウンロードいただけます。

## くみWai広場

こんにちは

## 事務局さん

梶しのぶさん(左)  
宮越久子さん(右)

## 小松鉄工団地協同組合事務局

## ● 仕事の内容を教えてください

各種貸付業務をはじめとする金融事業や共同購入や組合関連施設の管理などの共同事業に関する業務を行っています。

## ● モットーは何ですか？

(梶さん)「協調」です。組合員さん達との協調はもちろんの事ですがその他関係機関の方々との協調も大切にしていきたいと思っています。

(宮越さん)「親しみやすさ」です。“誰でも気さくに話しかけてくれる、誰とでも気軽に話ができる”ことが理想です。

## ● 今、興味を持っていることは何ですか？

(梶さん) ふるさと小松検定です。娘と一緒に現在、中級合格を目指して頑張っています。小松についてまだまだ知らない事が多く、楽しく勉強しています。

(宮越さん) コマツ小松工場跡地に作られる予定の研修施設がどのようなものになるのかとても関心があります。

## ● 最近、1番感動したことは何ですか？

(梶さん) 研修旅行で静岡に行った時に念願の富士山を見ることができた事。天候にも恵まれ、飛行機の中からも見ることができてサイコーでした。

(宮越さん) サッカーW杯。日本代表の激戦ぶりに連日、連夜涙なしには見られませんでした。特に母校出身の本田選手活躍に心を打たれました。

## ● 組合のPRをお願いします

当団地組合は、平成20年に「いしかわ地域版環境ISO」を取得し、現在、組合事務局をはじめ、組合員企業の従業員の方々も環境に対する高い意識を持って「ECO鉄工団地」を目指して様々な取り組みを行っています。また、今回、石川県の「地域連携沿道環境創出事業」の活動団体に認定され、組合敷地周辺の県道沿いに花を植え、管理する活動を行い、「団地周辺のイメージアップに一役買えれば」と思っています。

## ● プレゼントクイズ!!

環境に対する取り組みを積極的に行っている小松鉄工団地協同組合が掲げているキャッチフレーズは何でしょう？

## 「○○○鉄工団地」(英語3文字)

答えを別紙の「読者アンケート用紙」にご記入下さい。

抽選で5名様に粗品をプレゼントします!

ちなみに、7月中には植樹を行いたいとのことでしたので、小松にお越しの際は、道路をキレイに彩る花たちに会いに近くを通ってみてはいかがでしょうか?北陸道安宅スマートインターチェンジを出ると、花の匂いに誘われるかもしれませんよ。

当コーナーに登場していただける事務局さんを募集中です!  
自薦、他薦は問いませんので、中央会事務局まで連絡お待ちしております!

## From 編集室

大幅リニューアルした会報No.2の編集作業からはや1か月、日常業務とサッカー日本代表の奮闘、大相撲の野球賭博騒動、参議院議員選挙などのニュースを追いかけながら、慌しく過ぎる日々の中、No.3の発刊に至りました。たくさんの方の暑中見舞い広告掲載ありがとうございました。

さて、くみWai広場は、「こんにちは事務局さん」、「From編集室」で現在構成していますが、組合関係のイベント開催案内や開催報告などもどんどん掲載していきたいと思っています。是非、掲載希望がありましたら、事務局までお知らせ下さい。また、「プレゼントクイズ」の「プレゼント」につきまして、商品・サービスのPRのために提供いただける方も広く募集しております。

それでは、今号も職員の朝礼一言スピーチから「ちょっとためになる話、イイ話?」略して「ちょっとためにイイ話」を紹介いたします。

今後、よりよい誌面づくりを行うために読者の皆さんからのご意見、ご要望をお伺いしたいと思いますので、同封のアンケート回答へのご協力をお願いします。少しでも多くの“声”をお待ちしています。

回答は中央会 FAX:076-267-7720 までお送り下さい。

編集者E

## ● のび太という生き方

最近、ネットなどで中学生が書いた読書感想文が話題になっています。

マンガ「ドラえもん」で“ダメキャラ”として扱われているのび太に焦点を当て、自分との比較をしながら「実は想像以上に人生を上手に歩んでいる」と独自の解釈を述べ、ドラえもんとは、夢や希望のことではないかとまとめています。そのしっかりとした文体とユニークな切り口に思わず感心させられますので、是非、一度読んでみて下さい。

## ● 研修の成果

先般、全国中央会の初任者基礎研修の中で学んできた「良い印象を与える6つのポイント」を紹介します。

- |              |                  |
|--------------|------------------|
| 1.挨拶をする回数である | 4.キビキビ行動する回数である  |
| 2.笑顔の回数である   | 5.相手の目を見て頷く回数である |
| 3.返事をする回数である | 6.声の大きさ、明るさである   |



# ご利用下さい「信用保証制度」



保証限度額は、最高2億8千万円  
(組合の場合は4億8千万円)

ご負担は保証料のみ  
—相談料・用紙代金など一切不要—

©光プロダクション

## 活用しやすい7つの特長

- ◎経営状況に応じたきめ細かい保証料率で資金調達を応援
- ◎法人代表者以外の保証人は原則不要
- ◎資金ニーズにあった保証制度をご用意
- ◎流動資産を担保に資金運用を効率化
- ◎セーフティネット保証も充実
- ◎長期借入れや反復継続の信用保証も可能
- ◎団体信用生命保険制度によるプラスワンサービス

 石川県信用保証協会

◇保証部◇

〒920-0918 金沢市尾山町9番25号

TEL (076) 222-1522 (代) FAX (076) 222-1514

ホームページアドレス <http://www.cgc-ishikawa.or.jp/>

石川県中央会会員組合に所属する組合員の皆様へ

## 法人向け生命保険のご案内

企業を取り巻く様々なリスクに対しては、目的に合った生命保険で準備することが必要です。

生命保険でのご準備は十分でしょうか？

### 準備すべき目的

### 生命保険での対応方法

### 当社の生命保険商品

事業保全資金対策  
(社長が万一亡くなった場合)

死亡保険金を、  
●借入金の返済や運転資金に充当  
●従業員の給与を確保

ベクトルX  
3年ごと利差配当付  
利率変動型新積立保険  
定期保険 - M  
無配当定期保険

経営者・役員の  
退職慰労金・  
弔慰金の準備

死亡保険金による  
●経営者・役員の死亡退職金・弔慰金の準備  
満期保険金(解約返戻金)により、  
●経営者・役員の退職慰労金の準備

ステイタス - M  
無配当低解約返戻金型定期保険  
ザ・らいふ - R  
5年ごと利差配当付養老保険  
新・プラウド - R  
5年ごと利差配当付終身保険

従業員の  
退職慰労金・  
弔慰金の準備

死亡保険金による  
●従業員の弔慰金の準備  
満期保険金(解約返戻金)により、  
●従業員の退職慰労金の準備

ステイタス - M  
無配当低解約返戻金型定期保険  
ザ・らいふ - R  
5年ごと利差配当付養老保険

経営者の  
事業承継対策  
相続対策

死亡保険金・満期保険金(解約返戻金)により  
●相続税の納税資金・自社株買取資金の準備

新・プラウド - R  
5年ごと利差配当付終身保険

保険料支払により  
●自社株評価引き上げにつながる

ステイタス - M  
無配当低解約返戻金型定期保険

- \* 解約され、解約返戻金を受け取られた場合、以後の保障はなくなります。
- \* ご検討にあたっては、該当のパンフレット、「ご契約のしおりー約款」、「設計書(契約概要)」、「特に重要な事項のご説明(注意喚起情報)」を必ずご覧ください。

【お問い合わせ】

**三井生命保険株式会社** 金沢支社  
〒920-0853 金沢市本町 2-15-1 ポルテ金沢 7F  
TEL 076-222-0612



Ishikawa  
IT  
Human Resource Development  
Center

「持続的なイノベーション」を支える中核的人材の育成を目指す

## 株式会社 石川県IT総合人材育成センター



「いしかわビジネススクール」、「いしかわ技術経営(MOT)スクール」、情報技術に関連する研修講座を開講。研修講座の総合化と中核人材の育成に力点をおいた研修サービス、受託研修サービスなどをご提供します。

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目1番地

TEL:076-267-8000 FAX:076-268-8570

<http://www.ishikawa-sc.co.jp>

辿り着く。かならず、

ICCの自慢は、卓越した“技術”と、かならず結果を出す“実行力”。  
足腰の強い情報の提供を通じて、お客さまを目に見える成功へご案内いたします。

自治体ソリューション   医療ソリューション   民間ソリューション

セキュリティソリューション   アウトソーシングサービス   ネットワークサービス

**icc** 株式会社  
石川コンピュータ・センター

〒920-0398 金沢市無量寺町ハ6番地1号  
TEL(076)268-8311(大代) FAX(076)268-5442  
<http://www.icc.co.jp/>

# 損害保険集団扱制度のご案内

## ★【自動車保険・火災保険】

石川県中小企業団体中央会では、組合員の企業経営並びに従業員の福利厚生を充実するため、会員の皆様に中央会損害保険集団扱制度(自動車保険・火災保険)のご加入をお勧めしております。つきましては、本制度について引受損害保険会社の取扱代理店が説明させて頂きたく、訪問した際にはよろしくお願いたします。

## 《損害保険集団扱制度の概要》

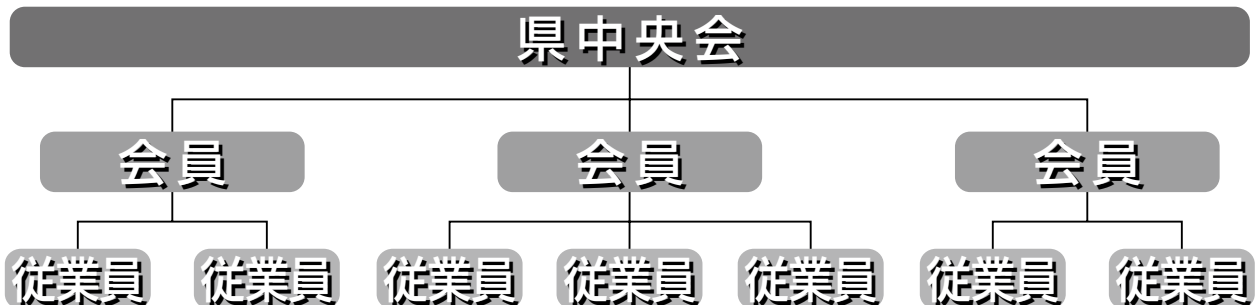
### 特 徴

- ◎保険料は、一般契約より5%割安です。(保険料一時払の場合)
- ◎手続きは、年1回払い、口座引落しです。
- ◎下記損害保険会社と契約を行っている方は、現在契約している取扱代理店で制度利用が出来ます。
- ◎自動車保険
  - ・既加入自動車保険は、無事故割引などをそのまま継承できます。
  - ・業務用車両も対象になります。
- ◎火災保険
  - ・普通火災、住宅火災、住宅総合、店舗総合、団地保険が対象となります。

### 対 象

(中央会指定の確認票を提出願います。)

- ◎中央会の会員(組合・企業・団体) ◎会員の傘下企業、事業主及び従業員



### お問合せ先

**石川県中小企業団体中央会 TEL.076-267-7711**

〈本制度引受損害保険会社〉

**三井住友海上火災保険株式会社……………TEL.076-223-9912**

金沢支店 〒920-0918 金沢市尾山町6番25号  
(旧三井海上火災保険株式会社・住友海上火災保険株式会社)

**あいおい損害保険株式会社……………TEL.076-264-7811**

金沢支店 〒920-0906 金沢市十間町5番地  
(旧大東京火災海上保険株式会社・千代田火災海上保険株式会社)

**日本興亜損害保険株式会社……………TEL.076-222-8610**

金沢支店営業第1課 〒920-0864 金沢市高岡町2番31号  
(旧日本火災海上保険株式会社・興亜火災海上保険株式会社)

**富士火災海上保険株式会社……………TEL.076-222-0005**

金沢支店 〒920-0962 金沢市広坂1丁目2番24号

！ 信用保証協会の保証枠を残して設備投資ができます。  
 ！ 経営全般について、無料でアドバイスが受けられます。

制 度	✓ 無利息融資制度 設備価格の1/2以内を無利子で長期貸付	✓ 割賦制度 設備を当機構が購入し、長期・低利で貸与
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無利子で融資</li> <li>●半年または1年の据置</li> <li>●減価償却が可能</li> <li>●利用回数に制限なし</li> <li>●県の制度融資等との併用が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●長期資金の調達と同じ効果あり</li> <li>●半年または1年の据置</li> <li>●減価償却が可能</li> <li>●利用回数に制限なし</li> <li>●返済完了後、所有権が移転</li> <li>●県・市町からの利子助成</li> </ul>
対象設備	新品または中古設備(※土地・建物・賃貸物件は対象外)	
従業員	50人以下	300人以下
限度額	✓ 4,000万円(特例6,000万円)	✓ 6,000万円(消費税込み)
利 息	無 利 子 (設備価格の1/2以内)	<b>年 2.75% 固定</b> (県からの利子助成、市町からの助成金交付) (実質利率 2.0~2.25%) <利子助成の流れ>(県 0.75%、市町 1.0% の例) 
期 間	7年以内(据置期間半年または1年) 詳細URL: <a href="http://www.isico.or.jp/jp/menu/menu05.htm">http://www.isico.or.jp/jp/menu/menu05.htm</a>	
連帯保証人	法 人：2名以上(うち第三者1名) 個 人：1名以上(うち第三者1名)	法 人：2名以上 個 人：1名以上
その他	抵当権設定の場合の費用は借受人の負担 設備に損害保険を付保	保証金：設備価格の10%が必要 設備に損害保険を付保

※リース制度もあります



財団法人  
**石川県  
 産業創出支援  
 機構**  
 Ishikawa  
 Sunrise Industries Creation  
 Organization

経営支援部 設備資金課

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地  
 石川県地場産業振興センター新館1F

設備資金貸付制度等のご相談はこちらまでお気軽にお問い合わせください

TEL: (076) 267-1174 (直通)  
 (代表) FAX: (076) 267-3622

詳細URL: <http://www.isico.or.jp/jp/menu/menu05.htm>  
 E-mail: [info@isico.or.jp](mailto:info@isico.or.jp) 平日 8:30 ~ 17:15 まで(土日・祝祭日休み)

交通機関 .....

●バス 金沢駅西口、大桑本町、香林坊、上荒屋西発金沢駅西口  
 経由「工業試験場行」  
 または「消費生活支援センター行」乗車「工業試験場」  
 下車 金沢駅西口より約20分

●タクシー JR 金沢駅西口より約10分

## 石川県中央会会報 No.3

平成22年7月発行

石川県中小企業団体中央会

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館5F

TEL (076)267-7711(代表) FAX (076)267-7720

URL <http://www.icnet.or.jp> E-mail [chuokai@icnet.or.jp](mailto:chuokai@icnet.or.jp)(代表)